

(様式8)

公共事業終了箇所評価調査

評価確定日(平成21年 9月30日)

Table with project details including codes, names, and classification. Columns include: 事業コード, 事業名, 事業種別, 路線名等, 箇所名, 区 分, 部 局 課 室 名, 班 名, 担 当 課 長 名, 担 当 者 名, 政策コード, 施策コード, 指標コード, 政 策 名, 施 策 名, 施策目標(指標)名.

1. 事業の概要

Main summary table with multiple rows. Includes: 事業の背景及び目的, 事業期間, 事業規模, 事業費内訳内容及び要因変化, 目標達成率, 自然環境の変化, 社会経済情勢の変化, 事業終了後の問題点及び管理・利用状況.

住民満足度等の状況 (事業終了後)	①満足度を把握した対象 ○ 受益者 ● 一般県民 (時期:平成20年2月) ②満足度把握の方法 ● アンケート調査 ○ 各種委員会及び審議会 ● ヒアリング ○ インターネット ○ その他の方法 (具体的に) ③満足度の状況 ・約4割の人が日常的に秋田中央道路を利用している。 ・県庁および市役所来訪者では、約3割の人が混雑状況や雪などの天候状況に応じて利用している。 ・秋田中央道路を利用する理由としては、「目的地に早く到着できること」を挙げている人が最も多かった。 ・秋田中央道路開通により、便利になったと回答した人の割合が38.0%、やや便利になった人を加えると52.8%の人が利便性の向上を感じている。
上位計画での位置付け	○あきた21総合計画における施策「街なか活性化による賑わいの再生」を支援する事業。 ○秋田都市計画区域マスタープランにおいて、「おおむね10年以内に整備する主要な施設」に位置付けられている。
関連プロジェクト等	○駅東中央道整備事業 ○中通一丁目地区市街地再開発事業 ○秋田駅東口まちづくり総合支援事業
前回評価結果等	●選定または継続 ○改善 ○見直し ○保留又は中止 ①指摘事項 特になし
	②指摘事項への対応 特になし

2. 所管課の自己評価

観点	評価の内容(特記事項)	評価結果
有効性	①住民満足度の状況 ●A ○B ○C 半数以上の人が利便性向上を感じている。	●A
	②事業の効果 ●A 達成率100%以上 ○B 達成率80%以上100%未満 ○C 達成率80%未満 業績指標の目標を達成している。 秋田駅東西の交通渋滞緩和に寄与している。	○B ○C
効率性	①事業の経済性の妥当性 ●A ○B ○C 費用対効果(B/C)が1を上回っている。	●A
	②コスト削減の状況 ○A 削減率20%以上 ○B 削減率20%未満 ○C 削減なし	○B ○C
総合評価	●A (妥当性が高い) ○B (概ね妥当である) ○C (妥当性が低い) 事業の目的である①秋田市中心部と秋田自動車道及び秋田空港とのアクセス機能の向上、②秋田駅東西間の交通渋滞の緩和、③中心市街地の活性化を支援について、十分な事業効果が得られており、住民満足度等からも妥当性が高い。	

3. 評価結果の同種事業への反映状況等(対応方針)

事業開始前の予備調査や設計段階での現場の把握、実施・詳細設計における適正な事業費の把握に努め、コスト削減に関しても積極的な取り組みをし、効率的な事業執行を図る。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

○総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	A
B (概ね妥当である)	「A」判定、「C」判定以外の場合	
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合	